

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会 令和5年度事業報告

令和4年度に策定した令和7年度までの4年間を計画期間とする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）」にもとづき取り組みを推進し、特に令和3年度に行われた日本ジオパーク再認定審査における指摘事項への対応に注力した。

調査・研究・交流事業として、日本ジオパークネットワーク関係では、千葉県銚子市と埼玉県秩父市で開催された「第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東」に参加したほか、通常総会やジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会、糸魚川ジオパークでの全国研修会、三好ジオパーク構想での中四国近畿ブロック研修会などに参加した。

毎年開催している隠岐と山陰海岸との3ジオパークによる研修会は、今年度は当ジオパークが担当であったことから、両ジオパークにお越しいただき、松江市・出雲市を巡るジオツアーなどを行った。

また、当地域の主な歴史・文化や生物・生態サイトカード（説明書）をまとめる作業や、パートナーシップ協定の締結に取り組んだ。

広報・宣伝事業は、会報誌を年3回発行するとともに、当ジオパークの視認性を高めるため、松江市美保関町の県道沿いやフェリー乗り場前に新たに看板を設置した。

ジオパークの日イベントは、出雲市大社町の日御碕でのフィールドワークやクルージング、アトネスいずもでの体験学習などに取り組んだ。

普及啓発・教育活動は、小学校高学年とその家族を対象に松江市美保関町片江でカヤック体験ツアーを実施した。

小学校におけるジオパーク授業については、昨年度に原稿を制作した松江市美保関町の千酌海岸用の学習補助資料を印刷し、松江市・出雲市の小学校に配布した。

ジオガイド養成講座やスキルアップ講座、4年間のジオガイド認定期間を更新するための研修も昨年度から継続して取り組んだ。

ジオパーク活動を推進するにあたり、半島振興広域連携促進事業費補助金や島根県自然公園を活用した誘客促進補助金、ジオパークサポーター会費収入などを活用した。

1 管理運営

（1）新規加入会員

中海漁業協同組合（加入年月日：4月25日）

宍道湖漁業協同組合（加入年月日：5月18日）

（2）会議開催

1）令和5年度臨時総会（書面表決）

議決日：8月9日（水）

議決された報告及び議案：

①報告事項

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会新規加入会員について

②議案

第1号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会令和4年度一般会計決算

2) 専門部会

①学術・研究部会 ※部会長 入月俊明（島根大学） 部会員 11名

第1回：10月31日（火）

②観光・広報部会 ※部会長 稲根克也（出雲観光協会）部会員 28名

第1回：11月17日（金） 第2回：2月27日（火）

③保全・教育部会 ※部会長 辻本彰（島根大学） 部会員 21名

第1回：10月18日（水） 第2回：2月15日（木）

3) 幹事会 第1回：3月11日（月）

4) 事務局会議

第1回：4月25日（火） 第2回：6月5日（月）

第3回：7月12日（水） 第4回：8月24日（木）

第5回：9月26日（火） 第6回：11月2日（木）

第7回：1月10日（水） 第8回：2月6日（火）

2 調査・研究・交流

(1) JGN（日本ジオパークネットワーク）、JGC（日本ジオパーク委員会）関係

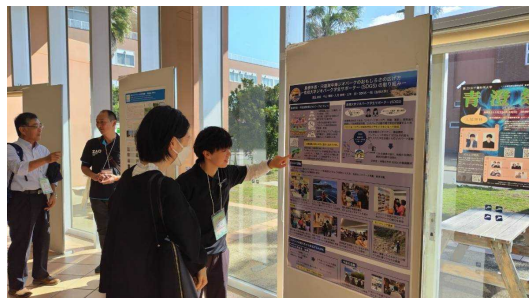
1) 会議・研修会参加状況

日程	内容	会場	参加者
5月20日（土）	JGN 運営会議	千葉県千葉市	野村専門員
5月30日（火）	・ JGN 第16回通常総会 ・ ジオパークによる地域活性化推進議員連盟第8回総会	東京都	福田・小村事務局員
6月6日（火）～9日（金）	日本ジオパーク委員会主催ジオパーク基礎研修会	オンライン	福田・永田事務局員
10月27日（金）	JGN 運営会議、全地域事務局長会議	千葉県銚子市	野村専門員、今岡事務局次長
10月27日（金）～29日（日）	第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東（関東ブロック）	千葉県銚子市 埼玉県秩父市	小林会長代行 他6名
11月9日（木）	JGC オンライン研修会 『世界遺産制度の半世紀より考えるジオパークの将来への備え』	オンライン	福田事務局員、ジオガイド
12月6日（水）	第1回 JGN オンライン研修会 『コンゴの鉱山における児童労働、鉱物資源と紛争 ～支援の現場からの報告～』	オンライン	福田・永田事務局員
12月8日（金）	JGN 初めて日本ジオパークが認定された日をお祝いしよう～祝15周年～	オンライン	福田事務局員

12月15日(金)	JGC 2023 年度審査基準検討会議	オンライン	福田・永田事務局員
1月11日(木)	JGN 防災WG による能登半島地震の現象・被害の概要オンライン説明会	オンライン	福田事務局員、ジオガイド
1月16日(火)	JGN 地球時間の旅展第3回研修会「気候変動を伝える」	オンライン	福田事務局員
1月22日(月)	第2回 JGN オンライン研修会 『訪日外国人旅行者に我が地域を見つけて楽しんでいただくための一工夫』	オンライン	永田事務局員
2月7日(水)～9日(金)	JGN 第18回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 糸魚川	新潟県糸魚川市	召古ジオガイド
2月13日(火)～14日(水)	中四国近畿ブロック研修会 (三好ジオパーク構想主催)	徳島県三好市	渡邊・岡ジオガイド 永田事務局員
2月15日(木)	第3回 JGN オンライン研修会 『中東、アジア、ヨーロッパの事例からジオパークの役割(できること)を考える』	オンライン	福田事務局員



JGN 通常総会での古川理事長(島原半島ジオパーク協議会長)挨拶



日本ジオパーク全国大会での島根大学生によるポスター発表

2) JGN 主催事業 日本ジオパーク周遊企画アプリ「ジオパークな旅」アプリの配信

全国に 46 あるジオパークに「周遊地点」が登録され、訪問し SNS に投稿することで証明書やプレゼントを得られるキャンペーンが開催され、7 月 24 日にアプリが配信された。(3 年間の配信予定)

当ジオパークは、ビジターセンターやジオサイト 10 地点を登録している。



3) 「苗場山麓ジオパーク振興協議会便り」への寄稿

苗場山麓ジオパーク発行の町民、村民向けの広報誌「苗場山麓ジオパーク振興協議会便り」(隔月発行)の『突撃しよう!隣のジオパ便り～〇〇ジオパークからこんにちは～』コーナーへ寄稿した。

4) GEOPARK magazine2023 Vol.11 への記事掲載

掲載内容: ①ジオガイド紹介(山本陽子ジオガイド)

②畑ほし柿紹介

③読者プレゼント提供(ジオブランド商品詰め合わせ)

(2) 3 ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業

1) 合同研修会

今年度の3 ジオパーク合同研修会は当ジオパークが担当になっており、隠岐や山陰海岸ジオパークの事務局スタッフやジオガイドをお招きし、研修会とジオツアーを開催した。

日 程：11月21日（火）～22日（水）

会 場：マリンパーク多古鼻（松江市島根町）

参加者数：31名

内 容：■ 11月21日（火）

- ・講演会「ジオパークにおける持続可能な地質物品の収集や取引」
- ・講 師 藤原専門員（山陰海岸ジオパーク）
- ・意見交換会

■ 11月22日（水）

- ・ジオツアー2コース

①松江コース 桂島、松江ビジターセンター、竜溪洞、由志園

②出雲コース 日御碕（ビジターセンター、灯台、神社）



講演会



松江ツアー



出雲ツアー

2) BSS ラジオ「中四国ライブネット」出演

今年度で4年目の取組であり、隠岐、山陰海岸ジオパークと合同でジオパークの魅力をラジオで中四国エリアに発信した。

会 場：BSS 本社（米子市）

日 時：3月3日（日）18:00～20:00

出演者：前田みのりジオガイド、朝倉利明ジオガイド

内 容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介

出雲エリアのみどころ、自然、歴史・文化について

(3) 歴史・文化及び生物・生態サイトカードの作成

当地域の主な有形・無形文化財や生物・生態をサイトカード（説明書）としてまとめており、特に歴史・文化サイトカードに関しては学術・研究部会員の皆様に候補の選定を依頼しているところである。

(4) パートナーシップ協定締結

相互に役割分担を明確にしてジオパーク活動を推進するため、今年度は8団体とパートナーシップ協定を締結し、累計11団体と締結している。

【令和4年度】※カッコ内は協定締結日

- ①国立大学法人島根大学（9月2日）
- ②加賀まるごと博物館（2月20日）
- ③一般社団法人出雲観光協会（3月27日）

【令和5年度】

- ①ミサキどっと Come（9月28日）
- ②一般社団法人加賀潜戸遊覧船（9月29日）
- ③神社ガールズ研究会（10月6日）
- ④出雲国ジオガイドの会（11月9日）
- ⑤海の楽校（11月30日）
- ⑥出雲ターミナル株式会社（12月12日）
- ⑦小泉八雲記念館（3月14日）
- ⑧公立大学法人島根県立大学（3月14日）



3/14 県立大学、小泉八雲記念館との協定締結式

（5）法政大学 2023 年度「地方共創プログラム～地方に学び、自分を知る～」現地フィールドワーク

法政大学は企業・地方自治体・地域社会と連携した教育カリキュラムの開発・実施を行っており、地方自治体から提示されたテーマに対して大学生がフィールドワークを行い、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案するプログラムを組んでいる。松江市と法政大学の連携・協力協定にもとづき、松江市を対象地域として開催され、「ジオパークを活用した持続可能な社会の実現と SDG s 推進」をテーマの一つとした。

学生たちはグループに分かれ、テーマに沿って事前の文献調査を実施の上、現地フィールドワーク、地元企業へのオンラインインタビュー等を行い、最終発表会でプランが提案された。現地フィールドワークでは、島根大学ジオパーク学生サポーター（SDGS）が同行し、発表に向けた支援を行った。

■スケジュール

- | | |
|----------------|--------------------|
| 6月10日（土） | ガイダンス・キックオフワークショップ |
| 8月9日（水）～11日（金） | 松江市での現地フィールドワーク |
| 10月2日（月） | 中間発表会 |
| 12月9日（土） | 最終発表会 |



フィールドワーク(宍道湖魚類研究会)



フィールドワーク(認定 NPO 法人自然再生センター)



フィールドワーク(海の楽校)

（6）来待石灯ろう協同組合との情報交換会について

令和3年度日本ジオパーク再認定審査で、中長期的に解決すべき事項として「来待石

の資源管理、技術継承、販売に関してモニュメント・ミュージアム来待ストーン関係者や石材業者らと意見交換し、ジオパークにふさわしいあり方を検討してほしい」と提示されていることから、来待石灯ろう協同組合と来待石の採石量や販売量などについて情報交換を行った。

日時：10月4日（水）14:00～14:30

会場：来待石灯ろう協同組合事務所（来待ストーン来待石工房内）

出席者：来待石灯ろう協同組合 伊藤理事長、古川学芸員

今岡事務局次長、福田事務局員、永田事務局員

（7）ジオサイトのモニタリング

松江市・出雲市のジオサイト10ヶ所におけるモニタリングを出雲国ジオガイドの会の協力を得て実施し、1月12日にはモニタリング報告会を開催した。

【モニタリング実施場所】

	ジオサイト	エリア	市域	区分
1	桂島	島根半島	松江	令和4年度 から継続
2	法田海岸	島根半島	松江	
3	出雲平野・斐伊川	出雲平野・宍道湖・中海低地帯	出雲	
4	立久恵峡	南部丘陵地	出雲	
5	千酌海岸の波食棚	島根半島	松江	令和5年度 新規
6	須々海海岸の洗濯岩	島根半島	松江	
7	小伊津・十六島の砂泥互層	島根半島	出雲	
8	赤浦海岸	島根半島	出雲	
9	宍道湖	出雲平野・宍道湖・中海低地帯	松江	
10	小田海岸の貝化石	南部丘陵地	出雲	

（8）須々海海岸安全マップの作成

アクションプラン重点取組として「地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策の明文化とその徹底」を掲げており、小学校がジオパーク授業で訪問する須々海海岸（松江市島根町）は急斜面などがあるため、安全対策として地図に動画での解説を掲載した『須々海海岸安全マップ』を作成した。



（9）「手結のスランプ褶曲」の松江市文化財（天然記念物）への指定

ジオサイトに指定している「手結のスランプ褶曲」について、令和6年度に松江市文化財（天然記念物）に指定するため、準備を進めている。



手結のスランプ褶曲

3 広報・宣伝事業

(1) 島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略の策定

本戦略の策定に向け、ジオパーク観光・広報部会での審議や、ジオパーク推進協議会会員やジオガイドからの意見集約を行い、ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で本戦略を決定予定である。

- ・11月17日（金）観光・広報部会（素案の審議）
- ・11～12月 ジオパーク推進協議会会員、ジオガイドへの文書での意見聴取
- ・2月27日（火）観光・広報部会（意見を踏まえた修正案の確認）
- ・3月27日（水）ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で決定予定

(2) 看板整備

1) 島根町沖泊における観光公害への対応のための看板設置

松江市島根町沖泊区長から連絡があり、当ジオパークが認定されて以降、多古の石柱や板状節理がある沖泊海岸を訪れる観光客が増え、公の駐車場でない場所への違法駐車や、行き止まりとなっている沖泊海岸への自家用車での乗り入れて、大変迷惑を被っていると苦情が寄せられた。

沖泊区長から消防倉庫の壁面に「この先行き止まり」という看板を設置してほしいという要望があったことから、観光公害への対応として注意喚起の看板を設置した。



島根町沖泊に設置した注意喚起看板

2) ジオパークエリアに入ったことがわかる視認性向上のための看板設置（2枚）



松江市美保関町七類フェリー乗り場前



松江市美保関町福浦県道沿い

(3) スポーツイベントへの協賛

当地域で開催されたスポーツイベントで協賛広告を掲出した。

①2023 第29回えびす・だいこく100kmマラソン

日程：令和5年5月28日（日）

②2024 第41回出雲くにびきマラソン大会

日程：令和6年3月3日（日）

くにびきマラソン
協賛広告



(4) 島根半島・宍道湖中海ジオパークポロシャツの販売

販売価格：1,600 円（税込）

販売数：592 着（前年比 54 着減）

令和 5 年度新色
アーミーグリーン



(5) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク通信（会報誌）の発行

当ジオパークの貴重な地質遺産や活動、活躍されている皆様、アクティビティなどを紹介する会報誌を昨年度から継続して 3 号発行した。

発行月：Vol.5（7 月号）、Vol.6（11 月号）、Vol.7（2 月号）

印刷部数：各号 3,000 部



(6) 科学の祭典 2023「科学の縁結び祭り」

日時：7 月 29 日（土）・30 日（日）

場所：出雲科学館

内容：ブース「トキとジオパーク」

実習室において、タペストリーの展示、島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介動画の放映、松江ビジターセンターの理科実験装置を用いた簡易的な理科実験及びサザエの殻積み体験を実施した。

参加者：2 名（加村・小村事務局員）

※両日とも採用 2 年目の教諭 2 名がフォローアップ研修の一環として参加。

30 日には、大社中学校科学部の生徒 2 名も補助スタッフとして参加。

来場者：29 日（土）70 名、30 日（日）96 名 計 166 名

(7) 「ジオパークの日」記念イベント

ジオパークの日を記念したイベントを 2 日間にわたり出雲会場と松江会場で開催した。

1) 出雲会場

日時：8 月 19 日（土）10：00～16：00

場所：日御碕・アトネスいずも

内容：①フィールドワークコース 参加者数 11 名

「オープントップバスで行く！ジオサイト探検ツアー in 日御碕」

②クルージングコース 参加者数 25 名

「オープントップバスで行く！ジオクルージングツアー in 日御碕」

③体験学習コース 参加者数 35 名

講座 1「わくわく理科実験教室」

講座 2「本物の化石を発掘してみよう！」

その他 サザエの殻積み記録会、ジオパーク関連展示等

運営協力：島根大学ジオパーク学生サポーター（SDGS）



オープントップバスでの移動



ジオクルージング



缶バッジづくり

2) 松江会場

日時：8月20日（日）9：30～15：30

場所：松江ビジターセンター

来場者数：89名

内容：①桂島謎解きラリー 参加者数4名
②ジオパーク缶バッジづくり 参加者数26名
③イベント限定ジオカード配布

（8）市報松江へのジオパーク記事の掲載

2名のジオガイドに、島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介や活動についての記事を寄稿いただいた。

11月号：（「まちをよくなるマイルポート」コーナー）河野美知ジオガイド

12月号：（「松江の文化力×未来」コーナー）松原慶子ジオガイド

（9）県政ラジオ番組「今ね！しまね推し♪」

島根県から市町に対してラジオ出演によるPRについて募集があり、松江市で応募したところ採用となった。

放送日時：12月8日（金）10：05～10：15頃

放送局：BSS ラジオ

内容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力

出演者：松原慶子ジオガイド

（10）ビジターセンター来場者数（令和5年4月～令和6年2月末）

①松江ビジターセンター 5,095名（前年度同期間比 840名増）

②日御碕ビジターセンター 19,973名（前年度同期間比 3,741名増）

（11）パンフレット設置等の情報発信コーナー設置箇所

松江市：松江ビジターセンター、松江市役所、松江市市民活動センター、
JR 松江駅松江国際観光案内所、七類港フェリーのりば

出雲市：日御碕ビジターセンター、出雲市役所、出雲科学館、アトネスいずも、
JR 出雲市駅観光案内所、出雲縁結び空港

4 普及啓発・教育活動

(1) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全管理計画の策定

本計画の策定に向け、ジオパーク保全・教育部会での審議や、ジオパーク推進協議会会員やジオガイドからの意見集約を行い、ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で本計画を決定予定である。

- ・10月18日（水）保全・教育部会（素案の審議）
- ・11～12月 ジオパーク推進協議会会員、ジオガイドへの文書での意見聴取
- ・2月15日（木）保全・教育部会（意見を踏まえた修正案の確認）
- ・3月27日（水）ジオパーク推進協議会令和5年度定例総会で決定予定

(2) 島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター「ジオサポ！」加入状況

会費：個人 一口1,000円

企業・団体 一口10,000円

個人会員数（2月末時点） 435名（前年比：36名増）

企業会員数（2月末時点） 5社（前年比：増減なし）

(3) 松江市美保関町千酌海岸用のジオパーク学習補助資料（副読本）の印刷

教員用ワークブック：160部印刷し、松江市・出雲市小学校に各2部配布した。

児童用ワークシート：1,000部印刷し、希望する学校に配布している。



(4) 出雲市議会ジオパーク推進協議会現地視察

日程：7月20日（木）

場所：立久恵峡、須佐神社、八雲風穴

参加者：①ジオパーク推進協議会 10名
②議会事務局 2名
③加村・小村事務局員
④出雲国ジオガイドの会 渡邊副会長

(5) ジオパーク探検隊～カヤック体験ツアー～の開催

小学校高学年を対象として、ジオパークや国立公園の海や山といった自然を満喫できるカヤック体験ツアーを松江市美保関町片江で開催した。

日程：9月2日（土）、3日（日）

会場：ゲストハウスかたゑ庵（松江市美保関町）

参加者数：8組23名



カヤックで片江湾へ



洞穴に入る様子



参加者でバーベキュー

(6) 地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラムの制作

自然災害発生メカニズムや過去の災害事例などを通じて、地域住民などの防災・減災に対する意識を高めるための教育プログラムを制作した。「土砂災害」、「火山災害」、「地震災害」、「洪水災害」ごとにパワーポイントを作成し、解説したものを動画コンテンツにまとめた。

本プログラムにもとづくジオガイドなどによる教育活動を通じて、防災・減災対策に役立てるものとする。また、防災教育フィールドワークなどを観光客にも案内することで、観光誘客促進につなげていくものとする。

(7) 島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成、スキルアップ関係

1) 養成講座、認定試験

①島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成初級講座（はじめの一步コース）

申込者数：29 名

受講方法：会場受講、録画動画視聴のいずれか

修了者数（すべての講座を受講）：15 名

	日時	会場	内容	講師	参加者数
第 1 回	8 月 5 日(土) 10:00～11:30	伊波野(い わの)コミュ ニティセン ター	島根半島・宍道 湖中海ジオパー クとは？	島根大学学術研究院 環境システム科学系 入月俊明教授	会場 9 動画 8
第 2 回	8 月 5 日(土) 12:30～14:00		島根半島・宍道 湖中海ジオパー クの植物	島根県立三瓶自然館 サヒメル 井上雅仁学芸員	会場 9 動画 8
第 3 回	8 月 27 日(日) 13:00～16:00	松江ビジ ターセンタ ー	フィールドワーク (桂島)	島根大学学術研究院 環境システム科学系 大平寛人准教授	会場 19
第 4 回	9 月 9 日(土) 13:00～16:00	日御碕ビ ターセンタ ー	フィールドワーク (日御碕)	島根大学教育学部理 科教育専攻 辻本彰講師 島根県技術士会 大嶋辰也氏	会場 25
第 5 回	9 月 16 日(土) 10:00～11:30	松江市市民 活動センタ ー	ジオパークの理 念と保護保全	島根大学大学院教育 学研究科教育実践開 発専攻 松本一郎教授	会場 10 動画 5
第 6 回	9 月 16 日(土) 12:30～14:00		国引き神話と文 化サイト	島根大学総合博物館 会下和宏副館長	会場 10 動画 5



伊波野コミュニティセンターでの講座



桂島でのフィールドワーク

②島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成上級講座（認定ガイドコース）

申込者数：9名

受講方法：会場受講、録画動画視聴のいずれか

修了者数（すべての座学とフィールドワーク1回受講）：9名

	日程	会場	内容	講師	参加者数
第1回	12月9日(土) 10:00～15:00	旅伏山、小伊津、唯浦	フィールドワーク	ジオガイド	会場6
第2回	12月10日(日) 10:00～15:00	美保関、竜溪洞	フィールドワーク	ジオガイド	会場6
第3回	—	—	ユネスコ世界ジオパーク概説	(動画視聴)	
第4回	1月20日(土) 10:30～16:00	松江市市民活動センター	ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本	島根大学教授 入月俊明氏	会場7 動画2
			ジオガイドの心構えと手法について ※ジオガイドも一緒に受講した	日本ジオツーリズム協会会長 福島大輔氏	会場9
第5回	1月27日(土) 10:30～14:30	伊波野コミュニティセンター	島根半島・宍道湖中海ジオパークの動植物	島根大学非常勤講師 佐藤仁志氏	会場7 動画2
			国立公園・自然保護について	環境省松江管理官事務所 原耕資氏	会場7 動画2



旅伏山でのフィールドワーク



松江市市民活動センターでの講座

③島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド認定試験

受験対象者：ジオガイド養成講座「はじめの一步コース」及び「認定ガイドコース」修了者で普通救命講習を修了している方

日時・会場：2月11日（日） 松江市市民活動センター505・506 研修室

2月12日（月・祝）伊波野コミュニティセンター

《午前》筆記試験（90分）

《午後》模擬ジオガイド発表（1名10分発表、5分質疑）

受験者数：8名（合格者数：8名）

試験官：筆記試験…ジオパーク推進協議会事務局

模擬ガイド発表…辻本保全・教育部会長、
ジオガイド、ジオパーク
推進協議会事務局の3名



2) スキルアップ研修

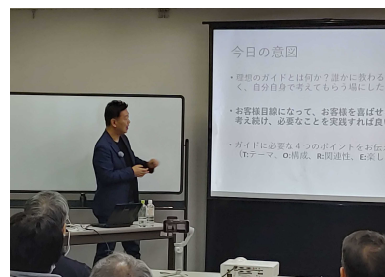
日時：1月20日（土）13：00～16：00

会場：松江市市民活動センター501・502 研修室

内容：ジオガイドの心構えと手法について

講師：日本ジオツーリズム協会 福島大輔会長

参加者：ジオガイド10名



※ジオガイド養成講座受講者と一緒に受講した。

3) 認定更新研修

令和6年3月末で4年間のジオガイド認定期間が満了する方の研修。更新に対する本人の意思確認と研修受講により更新した。

更新対象者：9名（認定期間 令和2年4月1日～令和6年3月31日）

更新者：8名（更新後の認定期間 令和6年4月1日～令和10年3月31日）

日時：2月3日（土）10：30～16：30

会場：松江市役所第1常任委員会室

内容：①講演1 島根半島・宍道湖中海ジオパークの歴史・文化

講師：出雲国ジオガイドの会 事務局長 三代隆司 氏

②講演2 島根半島・宍道湖中海ジオパークの地質・地形

講師：島根半島・宍道湖中海ジオパーク専門員 野村律夫 氏

③講演3 ユネスコ世界ジオパークの理念や活動状況

講師：高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門

講師 新名 阿津子 氏

※新名氏の研修は、ジオガイド認定更新研修の受講者だけでなく、ジオパーク推進協議会会員4名も参加した。

※研修会終了後に、新名氏とジオパーク推進協議会事務局で、当ジオパーク再認定審査後の取組状況報告や意見交換会を行った。



4) ジオガイド認定者数：63名（令和6年4月1日時点、前年同月比+6名）

（8）島根半島・宍道湖中海ジオパーク学術研究奨励事業補助金

島根半島・宍道湖中海ジオパークにかかわる調査研究に対して補助金を交付した。

・交付決定した件数：4件（前年度比2件増） ・補助金合計：390,385円

	団体名・個人名	事業内容	交付額
1	鎮西学院大学 教授 山口弘幸	①ユニバーサルデザイン・ジオツアーコースの設定とチラシ案作成 ②松江バリアフリーツアーセンターと連携した実地調査とプロモーション ③主要なジオサイトのユニバーサルデザインの観点からの点検	100,000 円
2	島根県立大学 松江キャンパス 民俗学研究室 中野洋平	宍道湖・中海周辺の集落における村堂の民俗を明らかにすることにより、島根半島・宍道湖中海ジオパークの歴史・文化、特に仏教文化に関する理解を深める。	100,000 円

3	海食洞調査チーム 事務局長 山西 敏光	地下に隠れている洞窟を測量という方法で可視化、そしてそのデータを許に洞窟記載から洞窟成因を調べる。 地元の海に詳しいシーカヤックガイドでジオパークガイドの方々の協力を得て、海食洞の海上測量方法を確立させる。	100,000 円
4	独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校 校長 和田 清	島根半島・宍道湖中海地域における史料(聞き取りを含む)から読み取れる産業構造、そして産業の発展により建てられる建築物による景観の特徴について明らかにする。	90,385 円
			390,385 円

(9) 普及啓発事業等補助金

住民団体、自治体、NPO 等が行う島根半島・宍道湖中海ジオパークの普及啓発活動に対して補助金を交付した。

・ 交付決定した団体：11 団体（前年度比 1 団体減） ・ 補助金合計：1,066,878 円

	団体名	事業内容	交付額
1	出雲国ジオガイド会	第 39 回地域づくり団体全国研修交流会島根大会分科会でのジオパークツアーの開催	99,800 円
2	千酌区自治会	千酌海岸清掃事業	100,000 円
3	Do the Sea	中海ジオパーク SUP de Clean Up!	100,000 円
4	加賀まるごと博物館	加賀湾内ジオサイト周辺の環境美化活動	76,596 円
5	高浜地区自治協会	「天平古道」案内パンフレット作製	100,000 円
6	株式会社伊勢宮界限元気プロジェクト	海のジオパークモデル地区としての片江の可能性発見!	100,000 円
7	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	島根半島の歴史文化再発見講演会開催事業	100,000 円
8	鹿島 shi 結女	「地域の魅力&イベントを伝える」情報紙発行事業	90,482 円
9	肉肉椎茸	島根半四十二浦 3 days 逆打ち	100,000 円
10	佐香コミュニティセンター	「佐香のジオ紹介パンフレット」作製事業	100,000 円
11	株式会社ちいきおこし	ジオブランド新商品開発	100,000 円
			1,066,878 円

(10) 学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金

松江市及び出雲市管内の学校におけるジオパーク授業への活動支援としてバス借り上げ料を補助した。

・ 交付決定した学校：27 校（前年度比 7 校増） ・ 補助金合計：3,443,690 円

区分	No.	学校名	交付額
松江市 21 校	1	津田小学校	206,800 円
	2	竹矢小学校	188,100 円
	3	中央小学校	248,600 円
	4	意東小学校	73,700 円
	5	朝酌小学校	60,500 円
	6	義務教育学校八束学園	133,650 円
	7	出雲郷小学校	250,000 円
	8	宍道小学校	165,000 円
	9	佐太小学校	96,800 円
	10	川津小学校	132,000 円

	11	法吉小学校	118,800 円
	12	島根大学教育学部附属義務教育学校	213,400 円
	13	恵曇小学校	82,500 円
	14	持田小学校	51,700 円
	15	忌部小学校	111,100 円
	16	大庭小学校	118,800 円
	17	雑賀小学校	106,150 円
	18	八雲小学校	169,400 円
	19	内中原小学校	132,990 円
	20	乃木小学校	214,500 円
	21	古志原小学校	240,900 円
出雲市 6 校	22	伊野小学校	39,600 円
	23	大社小学校	45,100 円
	24	須佐小学校	60,500 円
	25	西田小学校	17,000 円
	26	神戸川小学校	115,500 円
	27	稗原小学校	50,600 円
			3,443,690 円

(1 1) 出前講座、講師派遣など

1) 松江市地域おこし協力隊へのジオパークの説明

令和 5 年度に新たに任命された松江市地域おこし協力隊 2 名にジオパークの説明や意見交換を行った。

日時：5 月 9 日（火）13：00～14：30

会場：松江市役所

対応者：今岡事務局次長、福田事務局員

2) 島根県測量設計業協会令和 5 年度地質見学会

日程：6 月 23 日（金）

会場：出雲市佐田町須佐地域

講師：野村専門員、(株) シマダ技術コンサルタント

参加者数：15 名

3) 全国街道交流会議第 13 回全国大会「山陰大会」観光文化事業

小泉八雲ゆかりの地で学ぶバスツアーSDGs バスツアー

主催：中海・宍道湖・大山圏域市長会

日時：7 月 23 日（日）

内容：日御碕周辺でのジオパーク学習（クルージング、ガイド等）

参加者数：小学校 4～6 年生とその保護者 11 組 23 名

講師：渡邊一枝ジオガイド、松原慶子ジオガイド

4) 令和5年度松江観光タクシー研究会研修会

令和3年度にジオパークをテーマに研修いただく予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、今年度改めて実施した。

主催：松江観光タクシー研究会（事務局：（一社）松江観光協会）

日程：8月23日（水）、24日（木）、25日（金）10:20～12:20

内容：潜戸遊覧船乗船、松江ビジターセンターでの研修

参加者数：19名（内訳 23日3名、24日4名、25日12名）

5) 東京大学体験活動プログラムへの協力について

中海・宍道湖・大山圏域市長会で標記プログラムに参加し、当地での東京大学学生の体験学習を実施されることになり、学生3名に対して島根半島・宍道湖中海ジオパークについての説明を行った。

日程：8月24日（木）

場所：松江ビジターセンター

説明者：松原慶子ジオガイド

6) まつえ市民大学ふるさと環境コース

日時：9月5日（土）、12日（火）8:30～15:30

会場：大社・日御碕

内容：日本海形成期の大地をめぐる ー大社・日御碕ー

講師：野村専門員

参加者数：5日12名、12日18名

7) 早稲田大学自然地理学ゼミ巡検

日本ジオパーク委員会委員である早稲田大学教育学部地理学担当の久保純子教授から野村専門員が依頼を受け、巡検コースへの助言などを行い、18日は同行した。

日程：9月18日（月・祝）～20日（水）

参加者数：15名

巡検コース：

【9月18日（月）】

松江ジオパークビジターセンター、潜戸遊覧船 → 出雲大社・歴史博物館・稲佐の浜（・浜山砂丘） → 出雲平野の築地松 → 斐伊川網状流路・河口 → 宍道湖自然館ゴビウス

【9月19日（火）】

斐伊川網状流路、新川（天井川）、西谷墳墓群 → 斐伊川放水路記念館、斐伊川放水路分流堰見学 → 尾原ダム見学 → 菅谷たたら、鉄の歴史博物館見学（吉田で食料買い出し） → 三瓶山

【9月20日（水）】

三瓶自然館サヒメル → 三瓶縄文の森ミュージアム、三瓶火山テフラの露頭 → 石見銀山 → 広島県

8) 小学校が実施するジオパーク課外授業の支援

小学校が実施するジオパーク課外授業に野村専門員を派遣した。

①9月21日（木）津田小学校

②9月25日（月）乃木小学校

③9月26日（火）乃木小学校

④9月27日（水）大津小学校

- ⑤9月28日（木）恵曇・持田小学校 ⑥9月29日（金）津田小学校
 ⑦10月10日（火）竹矢小学校 ⑧10月12日（木）竹矢小学校
 ⑨11月9日（木）中央小学校

※島根大学の先生も支援されており、詳細はP21, 22 参照

9) 令和5年度松江市新規採用職員後期研修について

国際文化観光都市である松江市のもつ魅力を十分に理解し、「伝える」を担える職員をめざすことを目的にしており、そのカリキュラムの一つとして、ジオパークに関する研修を行った。

日時：10月12日（木）10：50～11：20

会場：興雲閣大ホール

参加者数：79名

講師：永田事務局員

10) 令和5年度第4回山陰海岸ジオパークサイエンスカフェ

日時：11月11日（土）13：30～15：30

会場：公立鳥取環境大学 学生センター2階 多目的ホール

参加者数：30名

講師：野村専門員

講演テーマ：出雲国風土記にみる自然観-島根半島を知ってジオパークを学ぼう！-

5 関係団体の活動報告

(1) 島根大学

島根大学じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」に参加するメンバーおよび島根大学の戦略的機能強化推進経費「SDGs 意識の醸成に向けた新ジオパーク学プログラムと学生組織（SDGS）の構築」の申請メンバーが中心となりジオパークに関する活動を行なった。

じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」のメンバーは以下のものである。*は戦略的機能強化推進経費申請メンバー

入月俊明*（代表者）	総合理工学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ジオ分野）
辻本 彰*	教育学部（講師）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ジオ分野）
大平寛人*	総合理工学部（准教授）	推進協議会の依頼活動・研究活動（ジオ分野）
林 広樹*	総合理工学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
酒井哲弥*	総合理工学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
向吉秀樹*	総合理工学部（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
瀬戸浩二*	エスチュアリー（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
齋藤文紀	エスチュアリー（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
香月興太	エスチュアリー（講師）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
広橋教貴	生物資源（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
山口啓子*	生物資源（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
久保満佐子	生物資源（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
大谷修司*	教育学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）

会下和宏*	総合博物館（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
飯野公央*	法文学部（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
鶴永陽子*	人間科学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
松本一郎*	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
栢野彰秀	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）

大学としての成果(主に教育・研究活動等)

1. 島根大学でのジオパーク学

SDGs の内容を取り入れた講義と演習を以下のように行なった。（*は学外非常勤講師）

1) ジオパーク学入門：前期 14 回、2 単位（オムニバス）、全学年、履修登録者 267 名

- ①4 月 10 日 ガイダンス（入月俊明）
- ②4 月 17 日 ジオパークの目的・背景（辻本 彰）
- ③4 月 24 日 ジオパークと SDGs（松本一郎）
- ④5 月 1 日 日本のジオパーク（大平寛人）
- ⑤5 月 8 日 山陰のジオサイト・ジオパーク（林 広樹）
- ⑥5 月 15 日 汽水域の自然環境の変遷（瀬戸浩二）
- ⑦5 月 22 日 島根の海と生き物（山口啓子）
- ⑧5 月 29 日 宍道湖・中海の自然と生態系（國井秀伸*）
- ⑨6 月 5 日 島根の食文化と風土（鶴永陽子）
- ⑩6 月 12 日 伝統産業と風土（大庭卓也*）
- ⑪6 月 19 日 文学に見るジオの風景（小泉 凡*）
- ⑫6 月 26 日 出雲の風土と伝承（品川知彦*）
- ⑬7 月 3 日 古代遺産（遺跡）と風土（會下和宏）
- ⑭7 月 10 日 ジオパークと地域振興・観光（野邊一寛*）

2) ジオパーク学各論：後期 14 回、2 単位（オムニバス）、ジオパーク学入門単位習得者、履修登録者 90 名

- ①10 月 2 日 ガイダンスと出雲地域の特徴とは（入月俊明）
- ②10 月 16 日 出雲地方のジオサイト：島根半島とその周辺（酒井哲弥）
- ③10 月 23 日 出雲地方のジオサイト：中国山地とその周辺（辻本 彰）
- ④10 月 30 日 出雲地方の鉱産物資源と利用（大平寛人）
- ⑤11 月 6 日 出雲地方とその周辺域の第四紀の古環境（齋藤文紀）
- ⑥11 月 13 日 宍道湖・中海の動植物の特徴（國井秀伸*）
- ⑦11 月 20 日 出雲地方の動物群の特徴（佐藤仁志*）
- ⑧11 月 27 日 出雲地方の陸域植物の特徴（大谷修司）
- ⑨12 月 4 日 出雲地方の自然災害（向吉秀樹）
- ⑩12 月 11 日 出雲地方の古代遺産（遺跡）と風土（會下和宏）
- ⑪12 月 18 日 ジオパークと出雲風土記（平石 充*）
- ⑫12 月 25 日 ジオパークと教育（松本一郎）
- ⑬1 月 15 日 ジオパークと経済（飯野公央）
- ⑭1 月 22 日 ジオパークと地域振興・観光（召古裕士*）

- 3) ジオパーク学演習：前期集中実習 2 単位、ジオパーク学各論単位習得者、履修登録者 25 名
 - ①ガイダンス
 - ②島根半島宍道湖中海ジオパークについて（講義）
 - ③加賀桂島ジオサイトの事前学習
 - ④～⑥野外実習（1）：加賀桂島ジオサイトとビジターセンター
 - ⑦野外実習（1）の事後学習
 - ⑧ジオパークと SDGs
 - ⑨～⑫ 体験活動その（1）：小波海岸におけるジオパーク活動への参加
体験活動その（2）：美保関ジオサイトめぐり
体験活動その（3）：玉造温泉とめのう
体験活動その（4）：自己プロデュースによるジオサイトめぐり
 - ⑬ジオパークを活用した SDGs 活動の提案
 - ⑭みなさんの企画の相互評価
- 4) 特別副専攻プログラムのジオパーク学プログラム 2023 年度修了者（予定）：11 名

2. 学生組織の活動

ジオパーク活動を支える学生組織の島根大学ジオパーク学生サポーター（SDGS）（大学院生 4 名と学部生 5 名）は今年度以下のような活動のサポートを行なった。

- 1) 松江市小波海岸における自然体験事業「海の楽校」の補助スタッフ、令和 5 年 3 月～5 月
- 2) ジオパークの日を記念した出雲市での活動「オープントップバスで行く！日御碕ジオパークツアー」の補助（クルージング、フィールドワーク、理科体験学習）、8 月 19 日
- 3) 法政大学地方共創プログラムへの参加、8 月 9 日～11 日
- 4) 環境モニタリング調査（出雲市三津町）、2023 年 9 月から毎月
- 5) 第 13 回日本ジオパーク全国大会 in 関東への参加とポスター発表、10 月 28-29 日
- 6) GN オンラインジャーナル「ジオパークと地域資源」の原稿執筆（投稿中）、12 月

3. 一般向け講座・講演など

● メンバー個人

- 1) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース、島根半島・宍道湖中海ジオパーク とは？」の講師、8 月 5 日、伊波野コミュニティセンター、対象：市民一般
- 2) 入月俊明、島根大学山陰研究プロジェクト主催のシンポジウム「観光の新たなデザインー未来を創る地域の魅力」での講演、12 月 16 日、タイトル：島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介と活用、島根大学、対象：市民一般
- 3) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ガイド養成上級講座「認定ガイドコース、ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本」の講師、1 月 20 日、松江市市民活動センター、対象：はじめの一步コース修了者
- 4) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の問題

作成

- 5) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ジオガイド養成講座「はじめての一步コース、フィールドワーク（日御碕）」の講師、9 月 9 日、日御碕ビジターセンター、対象：市民一般
- 6) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の審査員、2 月 11-12 日、松江市市民活動センター・伊波野コミュニティセンター、対象：ガイド養成講座修得者
- 7) 松本一郎、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ジオガイド養成講座「はじめての一步コース、ジオパークの理念と保護保全」の講師、9 月 16 日、松江市市民活動センター、対象：市民一般
- 8) 会下和宏、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ジオガイド養成講座「はじめての一步コース、国引き神話と文化サイト」の講師、9 月 16 日、松江市市民活動センター、対象：市民一般
- 9) 大平寛人、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の 2023 年度ジオガイド養成講座「はじめての一步コース、フィールドワーク（桂島）」の講師、8 月 27 日、松江ビジターセンター、対象：市民一般

4. 小・中・高等学校教育

● メンバー個人

- 1) 入月俊明・大平寛人、松江南高校探求科学科校外研修「島根半島の地質」の講師、9 月 11 日、松江南高校、松江市島根町桂島、対象：松江南高探求科学科 1 年生生徒
- 2) 辻本 彰、しまだいジュニアドクター育成塾「桂島の秘密を探ろう」の講師、6 月 4 日、11 日、対象：小学校 5 年生児童～中学校 2 年生の生徒
- 3) 辻本 彰、松江市教育委員会研理科部研修会「小学校 6 年生「土地のつくりと変化」の授業づくり研修会」の講師、8 月 1 日、松江市美保関町千酌、対象：松江市小学校教員
- 4) 辻本 彰、意宇川における川学習の事前学習講師、9 月 1 日、対象：松江市立乃木小学校 5 年生児童
- 5) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、9 月 21 日、対象：松江市立津田小学校 5 年生児童
- 6) 辻本 彰、小伊津海岸における地層学習の講師、9 月 22 日、対象：出雲市さくら小学校 6 年生児童
- 7) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、9 月 25、26 日、対象：松江市立乃木小学校 6 年生児童
- 8) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、9 月 28 日、対象：松江市立恵曇小学校 5 年生児童
- 9) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、9 月 29 日、対象：松江市立津田小学校 6 年生児童
- 10) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、10 月 10 日、対象：松江市立竹矢小学校 5 年生児童
- 11) 辻本 彰、千酌海岸における地層学習の講師、10 月 12 日、対象：松江市立竹矢小学校 6 年生児童

- 1 2) 辻本 彰、小伊津海岸における地層学習の講師、10 月 13 日、対象：出雲市今市小学校 6 年生児童
- 1 3) 瀬戸浩二・辻本 彰、しまだいジュニアドクター育成塾「湖底堆積物から中海の様子を探ろう」の講師、10 月 14、15 日、対象：小学校 5 年生児童～中学校 2 年生の生徒
- 1 4) 辻本 彰、須々海海岸における地層学習の講師、10 月 17 日、対象：松江市立内中原小学校 6 年生児童
- 1 5) 辻本 彰、意宇川における川学習の講師、10 月 23 日、対象：松江市立忌部小学校 5 年生児童
- 1 6) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、10 月 30 日、対象：松江市立忌部小学校 6 年生児童
- 1 7) 辻本 彰、小伊津における地層学習の講師、11 月 2 日、対象：松江市立法吉小学校 6 年生児童
- 1 8) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、11 月 2 日、対象：松江市立恵曇小学校 6 年生児童
- 1 9) 辻本 彰、須々海における地層学習の講師、11 月 17 日、対象：松江市立大庭小学校 6 年生児童
- 2 0) 亀井淳志・酒井哲弥、松江東高校 STEAM 教育特化型プロジェクト「EAST サイエンスデイ」講師、7 月 28 日、松江ビジターセンター・松江市島根町桂島、対象：松江東高校生徒

5. その他の活動，委員会参加，広報関係など

- 1) 入月俊明、島根大学じげおこしプロジェクト事例紹介パンフレット（p. 3）執筆
7 月、タイトル：島根半島・宍道湖中海ジオパーク活動推進事業
https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/_extra_files/jigeokoshiproject/html5.html#page=3
- 2) 入月俊明、ほとんど 0 円大学掲載、2024 年 4 月 20 日、タイトル：神話と地層からひもとく「国引き大地」の歴史！ 島根大学の入月先生に聞いた、ロマン溢れるジオパークの世界。https://hotozero.com/knowledge/shimaneuniv_geopark/
- 3) 入月俊明、観光庁「地方における高付加価値インバウンド観光地づくり」に係るワークショップへの参加、1 月 16 日
- 4) 入月俊明、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会、総会 1 回、学術部会 1 回、幹事会 1 回、事務局会 8 回
- 5) 辻本 彰、島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会、総会 1 回、保全教育部会 2 回、幹事会 1 回、事務局会 8 回
- 6) 島根大学ジオパークパンフレット（化石、岩石・地層，歴史遺産）1000 部増刷、2024 年 2 月
- 7) 酒井哲弥、松江市文化財保護審議会「松江市手結のスランプ堆積物の文化財指定について」委員会 1 回。
- 8) 酒井哲弥、松江城下町遺跡白潟区指導会 指導員 指導会 2 回

(2) 出雲観光協会

1) 出雲エコツアー日御碕絶景トレッキング桁掛半島コース

日時：10月22日（日）9:00～13:30

会場：日御碕

参加者数：9名

2) 日御碕予約ガイド ジオコース

参加者数：1組4名（参考 日御碕全体 17組 260名）

(3) 松江市公民館

1) 島根公民館

①さくらウォーキング

主催：島根地区社協

日程：4月2日（日）

内容：山桜観賞に合わせ、北山中腹から国立公園の岬、島々のリアス海岸形状を学んだ。

参加者数：58名

②新任教職員等町内巡り研修会

主催：島根公民館

日程：7月31日（月）

内容：須々海海岸の洗濯岩、加賀の潜戸、多古の七つ穴など代表的なジオサイトを巡り、専門家の解説を聞いた。

参加者数：18名

2) 美保関公民館

日時：10月14日（土）10:00～13:30

会場：美保関公民館

内容：環境学習（中海・境水道の恩恵とその生い立ち）と中海の恵み
～掛け替えの無い中海が100年1000年と続きますように～

講師：召古ジオガイド、松原ジオガイド（応援）

参加者数：40名

(4) 出雲市コミュニティセンター

1) 久多美コミュニティセンター

日時7月4日（火）

内容：山陰海岸ジオパーク～浦富海岸島めぐり～

講師：出雲国ジオガイドの会 三代事務局長

参加者数：25名

2) 佐香コミュニティセンター

日時：7月7日（金）

内容：四十二浦・ジオパーク巡り

講師：出雲国ジオガイドの会 金折ジオガイド

参加者数：22名

3) 灘分コミュニティセンター

日時：9月2日（土）

内容：地域防災学習～島根半島・宍道湖中海ジオパーク～

講師：野村専門員

参加者数：27名

(5) 出雲科学館

1) 小中学校理科学習

①小学5年生「流れる水のはたらき」 3単位時間（45分×3）

日程：10月5日（木）～10月19日（木） 60学級 1,490名

②中学1年生「火をふく大地」 3単位時間（45分×3）

日程：2月1日（木）～2月14日（水） 49学級 1,445名

2) 理科教員を対象とした地質研修（フィールドワーク）

日時：8月7日（月）8:30～16:10

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：志学展望広場の地層→池田ラジウム鉱泉→小豆原埋没林公園→三瓶山大平山
→わかあゆの里

参加者数：21名

3) 生涯学習事業

1) 企画展「岩石を見よう！ころころ石ころ大集合！」

日程：10月14日（土）～11月5日（日）

会場：出雲科学館

同時開催内容：①10月29日（日）14:00～15:30

サイエンストーク「島根で見つけるすごい石」

講師：愛知大学 教授 西本昌司 氏

参加者数：27名

②石ころ展をもっと楽しもうガイドツアー！

10月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、

28日（土）、29日（日）、11月3日（金・祝）～5日（日）

各日2回開催

参加者数：117名

③何の形に見えるかな？ストーンアートに挑戦しよう！

10月21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）

11月3日（金・祝）～5日（日）各日3回開催

参加者数：404名

2) 大人のための理科学習

①納得！川のヒミツ 10月15日（日） 参加者数：11名

※小学5年生「流れる水のはたらき」を大人向けに実施

②そうだったのか！火山と岩石 2月12日（月） 参加者数：10名

※中学1年生理科学習「火をふく大地」を大人向けに実施

3) 子ども科学学園でのフィールドワーク学習

「大地の成り立ちがわかる！斐伊川学習～ダイナミックな時間旅行～」

対象：小学5年生～中学生

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：斐伊川の下流域から上流域にかけて、バス移動をしながらその場所の特徴や今の地形となった背景などを学ぶ。

(11/12は雨天のため出雲科学館で学習)

参加者数：11月12日(日) 19名 11月19日(日) 14名

(6) 小中学校ジオパーク学習

小学校 25校、中学校 1校 (未回答：小1校、中2校) 2月21日時点
(うちバス借上げ補助金事業 6校申請)

(7) 出雲市生涯学習講座

1) 出雲国ジオパーク体験ツアーin 須佐～須佐神社と八雲風穴の魅力と歴史～

日程：10月3日(火)

講師：出雲国ジオガイドの会 三代隆司 氏、前田みのり氏

参加者数：28名

2) 出雲国ジオパーク体験ツアーin 立久恵～お寺や千体仏も！？見どころいっぱい～

日程：11月7日(火)

講師：出雲国ジオガイドの会 三代隆司 氏

参加者数：30名

(8) 清掃活動

1) 宍道湖(・中海)一斉清掃(県関係自治体地元住民活動)(宍道湖周辺)

実施日 6月11日(日)

①松江市 参加者 3,687名、ごみ回収量約 7.6t

②出雲市 参加者 800名、ごみ回収量約 0.58t

2) 海岸清掃事業(市民団体活動への助成)(稲佐の浜ほか島根半島海岸)

①松江市 実施回数 203回、参加者のべ 5,600名、ゴミ処理量約 51.7t

②出雲市 実施回数 116回、参加者のべ 7,786名、ゴミ処理量約 91t

(9) 築地松広報活動・保全活動

1) 広報事業

広報誌発行(42,000部)、HPでのPR、サービスエリアでのパンフレット配布

ボランティアガイド(築地松案内人)2名：R5案内実績5件(約64名)

出雲平野の築地松景観フォトコンテスト(募集期間 R5.12.1～R6.12.2、その後審査、表彰及びパネル展示等を実施予定)

2) 保全事業

築地松景観保全住民協定締結 153協定、3,200名、3,086.62ha

住民協定助成金交付 328件

陰手刈り技術研修会 講師4名 受講者11名

松苗配布 102本(配布人数26名)《前年度147本、40名》

(10) 養浜事業、海岸植物保全事業

1) 菌の長浜土砂管理計画に基づく養浜 (県事業)

西部農林水産振興センターは、施工している漁港浚渫で発生した砂を用いて、出雲市西園地区外園海岸における浸食防止対策を目的とした養浜を実施している。

また、外園海岸の養浜効果検証を行うため、養浜効果モニタリング業務を島根県出雲県土整備事務所が実施している。

2) 外園海岸「ハマボウフウ」の保全・育成活動 (出雲農林高校)

出雲市長浜地区の「外園海岸」(全長約4キロ)で、地域住民と出雲農林高校、県、市が共同して海浜植物「ハマボウフウ」の増殖計画を進めている。毎年、地域住民、出雲農林高校、長浜小学校、県、市で現地に植え付けを実施している。

この活動は、地域住民を中心に、出雲農林高校、長浜小学校の協力を得て、近年大幅に減少しているハマボウフウの保護による環境保全と、食用としても珍重されるハマボウフウの特産化を目指し実施されている。

(11) その他

1) 中国電力株式会社広報誌「あなたとともに」へのジオパーク記事の掲載

2023年夏号は松江市特集の順番となっており、表紙と裏表紙『eとこぶらり』にジオパークの記事を掲載していただいた。

発行元：中国電力株式会社 島根原子力本部 広報部

配布方法：山陰6都市(松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市)のエリア全紙新新聞折り込み 約23万部

2) 島根県技術士会生物多様性研究分科会主催「島根半島・宍道湖中海ジオパーク視察～生物多様性からのアプローチ～」

日時：11月12日(日)10:20～15:00

内容：松江ビジターセンターでのディスカッション・展示物の見学、加賀潜戸遊覧船、桂島自然観察会

参加者：島根県技術士会会員10名